



# 「ふれあいの里山」復活大作戦

|     |   |
|-----|---|
| 日時  | 2017年4月1日(土) 9時00分 ~ 15時00分   |
| 場所  | 金ヶ崎公園   |
| 参加者 | 午前:エコウイング会員/4名、魚住まち協/4名、計/8名<br>午後:エコウイング会員/4名、団体会員(明石高専)/5名、魚住まち協/4名、計/13名 |

## ● 午前

4月に入り桜の花が咲く時期ですが、今年は気温の低い日が多いため、まだ金ヶ崎公園の桜はつぼみのままでした。天候は、時々雲は出るものの晴れ間が広がり快適な活動日和に恵まれました。

朝9時に、魚住まち協の皆様4名も含めて公園事務所の会議室に集合して、ミーティングをした後、午前中は公園内を一巡りして市民自然図鑑の昆虫観察をしました。今日も気温があまり上がらず、観察できた昆虫は多くありませんでした。

## ● 午後

午後は、明石高専の先生と学生5名が新たに参加して、総勢13名で公園内の里山の整備をしました。今日は、公園入口付近の竹林からはみ出した竹や、常緑樹を中心に除伐作業をしました。魚住まち協の女性の皆様にも、のこぎりを使って竹や木を伐り倒す作業に挑戦していただきました。

午後は少し気温も上がって、久しぶりに心地よい汗をかきました。活動の最後には、咲きそろうた白いコブシの花の下で、参加者全員で集合写真を撮って、今日の活動を終了しました。

- 次回の活動は5月6日(土)の予定です。5月の連休中の活動になりますが、キビタキやオオルリなど美しい夏鳥が姿を見せてくれる時期です。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

朝のミーティング



昆虫観察の様子(その1)



昆虫観察会の様子(その2)



里山整備作業(その1)



竹林の間伐作業



活動後の参加者集合写真



# MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日、金ヶ崎公園で観察して撮影した昆虫などを紹介します。気温がやや低かったため種類も数もあまり多くありませんでした。写真に撮影できたのはミツバチとアブのなかまそれぞれ1種類だけでした。

菜の花の蜜を吸うニホンミツバチ



ナミホシヒラタアブ



野鳥では、まだ冬鳥のツグミやシロハラが姿を見せましたが、ジョウビタキやルリビタキなどは北国に帰ったようで、確認できませんでした。そのほかに、コゲラやモズなどの常連が姿を見せました。また、ふもとの北浦池は補修のため水が抜かれて浅い水深になっていましたが、カイツブリとカルガモが観察できました。

ツグミ



コゲラ



モズ



カイツブリ



カルガモ



## MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

植物では、コブシの白い花が満開でしたが、ソメイヨシノは開花にはまだ数日かかりそうでした。オオシマザクラは、1輪だけ開花を確認しました。そのほかにレンギョウやカンサイタンポポが黄色い花を、またアセビが白い花を咲かせ、ヒメオドリコソウやホトケノザのピンクの花も咲いていました。タラの芽も伸び始めていましたが、食べごろはまだ先のようです。

満開のコブシ



まだつぼみのソメイヨシノ



1輪だけ開花のオオシマザクラ



レンギョウの花



カンサイタンポポ



アセビの花



ヒメオドリコソウ



ホトケノザ



伸び始めのタラの芽

